

文化社会学B 大谷 裕文	履修年次	クラス	単位	学期
	2-4/3-4		2/4	後期/通年
備考： 文化社会学				

〔講義の概要〕

文化社会学Bでは、グローバル化が進展する今日の世界において、いま私たちが目撃している重要な社会学的問題の中から重要性が高まっている問題として、特に「民族集団とエスニシティ」の問題を重点的に取り上げ、様々な具体的な事例に言及しながらこの問題を多角的に論じていきます。毎回ごとの授業内容は、次に示すとおりです。

- 1 国民国家・民族・部族・民族集団等々の基本概念の規定
- 2 民族集団・エスニシティ研究に対する6つの代表的アプローチ
- 3 ヨーロッパの植民地主義と民族集団(1)～近代世界システムとの関連について
- 4 ヨーロッパの植民地主義と民族集団(2)～新たな分類システムと差異化の進展
- 5 ヨーロッパ人の移住と民族集団の形成
- 6 アイデンティティとアイデンティフィケーション
- 7 民族集団とアイデンティティ・ポリティックス～日系米人の事例
- 8 民族集団と多文化主義(1)～ヨーロッパ及び新大陸における多文化主義への道
- 9 民族集団の象徴戦略(1)～象徴論と記号論
- 10 民族集団の象徴戦略(2)～象徴の採用・操作及び歴史的变化
- 11 エスニシティとドラマトゥルギー(1)～ドラマトゥルギー論の伝統
- 12 エスニシティとドラマトゥルギー(2)～マイノリティが担う演劇
- 13 エスニシティとドラマトゥルギー(3)～微細な差別
- 13 グローバル化と民族集団(1)～エスニシティと階層構造
- 14 グローバル化と民族集団(2)～グローバル・シティーの台頭とトランス・ナショナル・コミュニティ
- 15 エスニシティと現代社会～日本における多文化主義の問題

〔テキスト〕

特に使用しません。

〔参考書等〕

綾部恒雄編、『文化人類学2－民族とエスニシティ』アカデミア出版会

〔成績評価の方法〕

学期末試験の成績によって評価をおこないます。

〔履修上の注意〕

毎回の授業は、前回の授業内容が理解できていることを前提として展開されることになるので、授業の前に前回の授業内容をリヴアイズしておいて下さい。